



よこはますいらん
神奈川県立 横浜翠嵐高等学校



所在地：〒221-0854 横浜市神奈川区三ツ沢南町1番地1号

電話：045(311)4621

FAX：045(312)9142

URL：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokohamasuiran-h/

創立：大正3年5月

課程：全日制、定時制

設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	3年	計
普通科	358	356	348	1062
学級数	9	9	9	27

(生徒、学級数については令和8年4月現在)

<学校案内図>

利用交通機関

- 横浜駅西口より
 - ・地下街CまたはD階段
 - 市営バス(6番のりば34系統「沢渡循環」)「翠嵐高校前」(約10分)下車
 - ・徒歩約20分
- 東急東横線反町駅より
 - ・徒歩約18分
- 市営地下鉄ブルーライン三ツ沢下町駅より
 - ・徒歩約12分



「翠嵐」の人材育成とは…

「翠嵐」は「すいらん」と読みます。旧制中学時代につくられた校歌の中に、「美なりや翠嵐」とあるところからこの校名になりました。“樹木の青々とした様子”を意味する言葉ですが、これは本校が立地する緑豊かな三ツ沢の丘の情景を表しています。

本校は、大正3(1914)年に県立第二横浜中学校として開校。当時は男子のみの旧制中学校でしたが、昭和25(1950)年に、現在の県立横浜翠嵐高等学校と改称して男女共学となりました。100有余年の歴史を刻む中で、瀧澤又市初代校長の『大平凡主義』という基本精神の下、自由な校風を受け継ぐとともに、「勤労と責任の尊重」「気品ある風格と豊かな情操の涵養」などの校訓を守り、常に時代をリードする素晴らしい人材を数多く世に送り出してきました。そしてこれからも、「翠嵐」は進歩を続けていくために、地道な努力を重ねながら、さまざまな先進的な取組みを推進していきます。

平成29年度からは県教育委員会より「学力向上進学重点校」の指定を受け、確かな学力と豊かな人間性・社会性を備えた次世代を担う人材育成に資するため、組織的なカリキュラム開発と授業の質的保障、個別の学力向上支援体制の充実等、生徒の第一志望の進路実現に向けて取り組み、グローバル人材・次世代リーダー育成を目指しています。

教育活動の特徴

【「翠嵐」は「自立・自走」を求める】本校では、昭和26(1951)年から前・後期の2期制を実施しています。また、各教科・科目の特性を生かすために、95分授業をベースとしながら45分または50分授業も組み込み、授業の質の向上と量の確保に努めています。



授業の様子

現在、「学力向上進学重点校」としての特色づくりをさらに進め、生徒一人ひとりが希望する進路を実現できるようなカリキュラムの開発や学習機会の提供、学習環境の整備などに取り組んでいます。その一環として、平成30年度から、2年生の文系数学Ⅱ・数学Bにおいては習熟度別授業、1年生の論理表現Ⅰと2年生の論理表現Ⅱにおいては少人数授業を行い、基礎学力の充実を図るとともに、発展的な内容の授業を展開すること

により学力の向上を目指しています。

しかし、最も大切なことは、今までの「中学の学習」から脱して、自ら進んで学ぶ「高校の学習」へと切り替えることです。“翠嵐生”になったからには一日も早く自ら能動的に前進すること、つまり「自立・自走」の姿勢を身につける必要があります。そのため、入学直後に「学習オリエンテーション」を実施し、予習・復習の重要性を学びます。日々の自主的な学習こそが重要なのです。また、毎日の授業の他に、土曜日や長期休業期間に、さまざまな科目の講習を開講しますので、自分の興味や関心、そして進路を意識して積極的に参加しましょう。

【進路指導が充実した「翠嵐」】 本校では、入試制度や入試スケジュールおよび進路の現状などについて、それぞれの学年に必要な情報を整理したオリジナル資料を作成しています。

学年ごとに実施する生徒対象の進路集会や保護者対象の進路説明会などでは、これらの資料を活用して的確な情報提供ができるように努めています。また、ガイダンスグループ(進路指導担当)と学年が連携し、学級担任との生徒面談や保護者面談を通じて計画的で丁寧な進路指導を行っています。さらに、模擬試験等を有効に活用し、豊富なデータに基づいた精度の高い進路指導を行い、3年生での進路決定に至るまで段階的な指導を行っています。

「総合的な探究の時間」(本校では「グローバル探究」と呼んでいます)では、将来の職業選択を視野に入れたテーマで研究を進めることにより進路ビジョンの確立に取り組んだり、普段の授業の枠を超えて開設される「探究講座」を自己の興味・関心に応じて受講し、課題解決能力を育んだりします。また、各界の第一線で活躍している本校の卒業生を講師に招いて実施する「分野別職業講話」、夏季休業期間中の大学のキャンパス見学、医師による講演などにより進路に対する意識を高めます。各種受験雑誌、大学の学校案内、大学入試の過去問題集などの資料が充実している進路指導室は、パソコンやコピー機も備えられており、明るく落ち着いた雰囲気の中で進路情報の検索や入試問題の傾向を研究する生徒が数多く訪れています。

【充実した「自立・自走」サポート体制】 平成元(1989)年に米国メリーランド州のエレノア・ルーズベルト高校と姉妹校の協定を結んで以来、相互に訪問団を派遣し交流を続けています。国際交流に興味・関心のある生徒には、日米間の文化や生活などの違いを学び、相互理解を深める機会となるでしょう。

さらに、生徒の「自立・自走」の姿勢確立や、学力向上への意欲をサポートするために、学習環境の整備を進めており、自習室・進路指導室には60台の個別ブース型デスクを配置しています。早朝に登校して始業までの時間を有効に活用する生徒、昼休みや放課後に予習・復習そして受験勉強に取り組む生徒など、自習室は毎日、完全下校時刻まで照明が消えることはありません。ここには、大学入試の過去問題集や大学のパンフレットなど、みなさんの進学に役立つ資料もそろえています。静謐(ひつ)で緊張感のある空間は仲間と切磋琢磨することができる絶好の場と言えます。おおいに利用してください。



落ち着いた雰囲気^{すいしようさい}の自習室

学校行事

本校の生徒たちは“勉強ばかりしている”わけではありません。学校行事も盛んに行われ、翠翔祭(文化祭)・体育祭・球技大会・芸術鑑賞会など、学校行事も数多く、学習時間を確保しながら全力で取り組んでいます。「翠嵐」では生徒がいろいろなことにチャレンジして、充実した高校生活を過ごす中で、自分の持っている可能性を自分自身で見つけています。

部活動

部活動(運動系:15・文化系:21(委員会2を含む)・同好会:3)は、生徒が自主性を持って活動する場です。現在、全体の約90%の生徒が加入していますが、1週間に2日間の活動休止日を設定し、余裕を持って家庭学習ができる環境をつくるなど、無理なく参加できる形態になっています。



体育祭での1コマ

※学校説明会……第1回:9月19日(土)西公会堂 第2回12月12日(土)本校